

対象:小4~高3

楽しい×本気×成長

冬期講習

★文理の授業は学校の教育改革と協同し、「自主性」を育てます!★

今求められている力

今、求められている「思考力・判断力・表現力」は、確かな「知識・技能」をもとに成り立っており、「学びに向かう力」へとつながっていきます。そして、これらが相互に作用し、スパイラル的に「生きる力」の向上へとつながっていきます。

今までの塾の在り方

① 学校の授業 分からない…

これからの塾の在り方

① 学校の授業 疑問が生まれる

② 塾に行く! 教えてもらう!わかった!

② 塾に行く! 納得する!自分で解ける!

③ 課題に取り組む! できるようになる!

③ 自分で課題を考える! 自ら解決する!

④ 得点力UP!! 自信がつく!

④ 生きる力UP!! 自信になる!

同じように見えますが、②と③の違いが重要です。「させられる」学習ではなく、「自ら学ぶ」学習になることが重要なのです。利便性・即時性を求めて、世の中は便利になってきました。そんな中で今の子どもたちは「考える力」が低下してきていると言われて久しくなっています。だからこそ「自ら課題を見つけ、解決する力」が今、求められるようになっているのです。学校教育も新指導要領にしたがって、このような教育が進められています。しかし、そんな中で、まだまだ未熟な子どもたちは、自ら学ぼうとしても問題に突き当たって今の自分一人の力では解決できず、困ったりあきらめたりすることも多々あるのではないか?そこで塾の出番です。確かな「知識・技能」を身につける援助をし、共に考え方をしたり時には励ましたりすることで、子どもたちの自ら学ぼうとする意欲を高め、「思考力・判断力・表現力」の向上に寄与できると考えます。そして、頑張りを認められたりテストで高得点を取れたりすることで、自己肯定感が高まり、子どもたちの「学ぼうとする意欲」がさらに高まっていきます。これらを行うことは非常に難しいことですが、文理なら可能です。「すべてプロ」の教師陣がそれを実現します。「文理に来てよかった!」と言ってくれている子どもたちのコメントを掲載いたしますので是非、塾選びの要素の一つとしてご覧ください。

文理の授業スタイル

集団授業から「自主性」を!

★仲間と一緒に頑張れる!

→勉強するきっかけになる!

★プロの教師が生徒の可能性を引き出す!

→生きる力が身につき、自信になる!

授業編

文理に入って良かった!文理生たちの熱いコメント!

環境編

- ◆ 集団授業など、質問する時間もある。
- ◆ 授業が分かりやすいし、面白い!
- ◆ 個別には自分が分かった(つもり?)で進んでしまうが、集団だと、自分が分からない所を発見できる。
- ◆ 前の塾では「テスト対策」がなかったから、文理では「テスト対策」があるため、自分は「次のテストは何点だろう!」という気持ちになり、勉強する気になる。
- ◆ 個別より、わかりやすい。
- ◆ 自分に合った勉強法が分かった。
- ◆ 1つ1つの授業をしっかり説明してくれるので、学校の授業の予習になる。
- ◆ 5教科しっかり学べることにより、苦手科目にも目を向けられるようになった。



- ◆ 自分の実力がわかる。
- ◆ 周りが出来る時の「あせり」が勉強を促進させる。
- ◆ 点数が上がった。
- ◆ 勉強しなきゃいけない環境がある。
- ◆ お金が安い。
- ◆ 友達との交流が楽しい。
- ◆ 同じレベルの友人と相談しやすい。お互いに高め合える。
- ◆ 先生たちの言葉でやる気ができる。
- ◆ 高いレベルの人に対する気持ちになった。
- ◆ 授業開始が夜なので、自分の時間をとりやすい。
- ◆ 具体的な目標点を決めやすくなった。

